

## 広報よこはま緑区版への掲載実現

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 内山 一 空尉）は、1月11日（土）発行の『広報よこはま緑区版1月号』の『新春恒例 読者アンケート＆お年玉プレゼント』企画を支援した。日頃より自衛官募集ポスター掲出等で支援して頂いている横浜市緑区長である岡田展生氏（令和2年4月着任）より「広報よこはま緑区版に自衛隊の事を掲載してみませんか」と提案を頂いたことがきっかけとなった。岡田区長は、陸上自衛隊少年工学校（現・高等工学校）の卒業生であり、自衛官として勤務した後、横浜市役所に入庁。緑区を担当している日下部広報官も同校の卒業生であったという縁もあり、広報誌に初めて掲載して頂けることとなった。

おかのぶ

岡田区長からの提案を実現すべく第一弾として、新春恒例となっている『お年玉プレゼント』を支援することとなり、陸海空ステレンスマグ各1点と、ブルーインパルスのステレンスボトル3点の合計6点を出品支援した。掲載にあたっては、ステレンスボトルの写真とともに『自衛隊市ヶ尾募集案内所』の文字が広報よこはま緑区版の一面を飾った。広報よこはま緑区版は、自治会等を通じ約7万部が配布され、駅等公共施設に掲出されており多くの横浜市緑区民の目に触れる。配布から約2週間経過した応募状況について緑区担当者より「自衛隊のステレンスボトルとマグは人気が高く、現段階で倍率1.5倍です」と連絡を受けた。インターネットとマガキを合わせた応募総数は、約750件にのぼっており、ここ数年で一番応募数が多いという。現在は第二弾の掲載に向け緑区担当者と打合せを重ねており、横浜市緑区在住で今春入隊予定者の顔写真や、令和4年度の幹部候補生・一般曹候補生試験の募集案内を掲載するべく準備を進めている。



## ZOOMを活用して職業講話

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木 3 陸佐）は1月22日（土）、港南区PTA連絡協議会全体研修会に参加した。

今年度の『港南区PTA連絡協議会全体研修会』は、『身近な仕事の実態に迫る』と題して、普段あまり見ること、聞くことのない職業の仕事内容を紹介し、将来の進路選択に役立てて欲しいとの趣旨のもと、ZOOMで開催された。民間企業から公務員までさまざまな職業が参加し、児童・生徒・保護者が常時100名以上が視聴し、自衛隊の職域や仕事内容等についての説明にも多くの人が視聴し理解を深めた。

説明会終了後には

「大人でも楽しく視聴でき、子供は相槌をうちながら聞いていた」「いいお話を伺う機会があって良かった」等のコメントもあるなど、有意義な会となった。

上大岡募集案内所では「今後もさまざまなツールを活用し、多くの方々に自衛隊の魅力を伝えていきたい」としている。

